

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題（目的に対する現状など）	26年度決 算額[千 円]	27年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成28年度に取組む改革・改善内容	28年度予 算額[千 円]
1	一般	4	1	1	116健康を支える保健・医療の充実	保健衛生事務に要する経費	健康増進課			①安心安全な医療を提供するため、二次救急事業の維持、健康管理センター管理医の配置、医師会等への補助金を支出する。 ②二次救急事業は鎌ヶ谷市のみで実現することは不可能であるため、船橋市と協定を結び、確保する。	17,325	18,666	6精査・検証	①高度救急に対応した二次救急及び災害時等を含む医師会等の協力は必要不可欠であり、効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②救急医療・災害医療等の充実。	20,598
2	一般	4	1	1	116健康を支える保健・医療の充実	健康づくり推進に要する経費	健康増進課			①健康づくりのための食に関する相談・教室などで、ライフステージに合わせた食育を推進する。 ②ライフステージに合わせた、健康づくりのための食についての普及啓発が必要。	6,897	5,659	6精査・検証	①対象者の健康づくりにおける現状を把握し、それに基づいた取り組みをしていく必要があるため、効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②第2次食育推進計画の推進に合わせ、高血圧予防のための減塩、生活習慣病予防のための野菜摂取、若年層への朝食摂取について取り組む。	5,499
3	一般	4	1	2	116健康を支える保健・医療の充実	各種健（検）診に要する経費	健康増進課	○		①各種健（検）診は、市民の健康を守るために行うもので、サービスに対する受益と負担の公平性を確保するため、平成15年度からは一部自己負担金を徴収している。乳がん検診及び子宮頸部がん検診においては、無料クーポン券とがん検診手帳等を配布する新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業を実施。 ②受診率の向上。高齢化や社会的状況により受診希望者の増加が見込まれることによる検診実施体制をどうするか課題。	97,113	93,873	6精査・検証	①健康増進法等により定められたもので、疾病の早期発見、早期治療により市民の健康保持につながるものであり、効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業を実施する。検診実施体制の検討。	105,767
4	一般	4	1	2	116健康を支える保健・医療の充実	予防接種に要する経費	健康増進課	○		①伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を行う。 ②制度の改正は、多々あり、急遽ということもある。予算も含め、迅速な対応が必要。正しい情報の提供、予防接種の意義を十分に理解してもらうことが必要。	298,236	236,009	6精査・検証	①予防接種法等に基づくものであり、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するため、効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②予防接種に関する制度改正等に迅速に対応する。接種率向上のため、必要な周知、接種勧奨をする。（H28.10.1よりB型肝炎予防接種開始予定）	285,693
5	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	健康管理事務に要する経費	健康増進課			①円滑な事業展開のために必要な専門職を配置したり、事業に携わる専門職員の資質・技能の向上を図る。 ②市民の利用が少ない状況にある事業について、コストや効率性を含め、事業内容の見直しと改善が課題。	10,531	10,042	6精査・検証	①省力化しながら、市民の健康維持・増進に向けた施策展開のため絶えず検証が必要であるため。 ②必要な人材を確保し、市民ニーズに応じた質の高いサービスを提供するとともに、見直しが必要な事業については具体的な改善案を決定する。	14,545
6	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	母子保健に要する経費	健康増進課			①安心して子どもを産み育てるために、母子保健に関する啓発、健診、相談、育児支援を行う。 ②親が孤立せず、子育てを楽しみ、成長を確認できるよう、関係機関と協働し、継続した育児支援を続けていくことが課題。	92,124	84,988	6精査・検証	①関係機関や市民ボランティアと協働し、継続した育児支援ができた。今後もさらに支援を効率的、効果的に行うため検証が必要である。 ②子育てガイドブックを活用し、個々に合わせた母子ケアプランを作成し、きめ細やかな支援を継続的に行う。	101,644
7	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	成人保健に要する経費	健康増進課			①40歳以上の市民を対象に、健康教育・相談・家庭訪問等を行い、生活習慣病予防などの健康づくりへの支援を行う。 ②講座参加者は高齢化・固定化していて、特に若い世代の参加が少ない。	221	223	6精査・検証	①ハイリスク者に対する個別対応とともに、現在健康である市民に対しても予防啓発が必要であるため、効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②講座の開催時期や周知方法を見直して、各事業につながりを持たせる。	230
8	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	歯科保健に要する経費	健康増進課			①市民の生涯にわたる口腔の健康保持・増進のため、歯科健康診査・予防処置・健康教育・健康相談を実施する。 ②乳歯のむし歯は減少してきたが、永久歯のむし歯や歯周疾患は罹患者が多く、国保に占める歯科医療費の割合は依然高い。	2,502	2,508	6精査・検証	①むし歯や歯周病を予防し、生涯自分の歯で食事ができるよう、引き続き歯科健診や健康教育・健康相談を効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②20歳、30歳の歯周疾患検診を新規に実施し、若い世代からの歯周病予防の啓発を強化する。	3,101

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	26年度決 算額[千 円]	27年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成28年度に取組む改革・改善内容	28年度予 算額[千 円]
9	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	精神保健に要する経費	健康増進課			①講演会や学習会・相談・家庭訪問等を実施し、市民のこころの健康づくりや、精神障がい者が地域で生活しやすいようにする。 ②精神疾患を理解し、地域の中で支えていく必要がある。	727	626	6精査・検証	①誰もが住み慣れた地域で生活しやすいよう支援が必要であり、効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②精神疾患の知識、理解を深めるために講演会を引き続き実施していく。リーフレットやカードを使って相談窓口の周知を行い、こころの相談がしやすい環境を作っていく。	856
10	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	フッ化物洗口事業	健康増進課	○	○	①国のフッ化物洗口ガイドラインを基に、保育園・幼稚園・小学校・中学校特別支援学級においてフッ化物洗口を行い、生涯むし歯になりにくい強い永久歯をつくる。 ②洗口が全小学校全学年で実施できるようにするための、システムの構築。	1,701	1,911	7拡充	①子どものむし歯を予防することは、子どもの健やかな成長のもととなり、子育てしやすい街づくりに繋がるほか、歯科医療費の抑制にも貢献でき、有効性が高い為、平成31年度まで毎年1学年ずつ対象を拡大していく。 ②小学校2、3年生を5月から継続実施し、小学1年生に対して、健康教育と洗口指導を行い、2学期からフッ化物洗口を週に1回実施する。	2,623
11	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	歯科検診台更新事業	健康増進課	○	□	①歯科検診台2台とコンプレッサー1機が老朽化し、度々不具合を生じたため、新規に購入し入れ替える。 ②定期的に保守点検を実施し、適正な維持管理に努めていく必要がある。	0	5,395	1終了	①検診台の購入が完了したため。 ②定期的に保守点検を実施する。	0
12	国保	8	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	特定健康診査等に要する経費	健康増進課	○		①年1回特定健康診査を実施。結果により、生活習慣病のリスクが高い人への特定保健指導と受診勧奨値を呈した人への受診勧奨を行う。 ②データヘルス計画より、平成26年度特定健診受診者と未受診者の比較では、一人当たり医療費は未受診者の方が2万円以上高い。しかし、受診率は目標値に届いていないため、未受診者対策を継続し、受診者の事後指導を実施していく。	75,792	80,901	6精査・検証	①法律で定められた健診であり、効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②健診受診率向上のため、9月時点での未受診者全数に受診勧奨はがきを送付し、未受診理由について、アンケート調査を行う。	92,839
13	介護	5	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	一般介護予防事業対象者支援事業に要する経費	健康増進課			①介護予防講座や地区活動で啓発を行うとともに講座参加者からボランティアを育成し介護予防活動の推進を図る。 ②介護予防講座新規参加者の増加させる。ボランティアを育成し、活動が活性化するように支援する必要がある。	1,796	1,157	6精査・検証	①介護保険法において介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業に位置付けられている。効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②周知方法を工夫していく。健康づくりボランティアとして定例会を実施し、活動意欲を高め、活動の場を広げていく。	1,858